

加古川市でエッセイコンテストのグランプリが決定
—ファイナルステージを開催—

2月11日、女性が輝く加古川市ビジネスプランコンテストのファイナルステージ〜最終審査会〜が開催され、書類審査を通過した6名が公開プレゼンテーションを行い、最終審査に臨みました。

厳選なる審査の結果、吉本優紀さんの「イベント出張型託児所きつずらんど」がグランプリに選ばれました。吉本さんは、



岡田市長とグランプリを受賞した吉本さん

手作り布製品をネットや野外イベントに出店・販売しており、子どもを預ける先がなくイベント出店を諦めるママさんのハンドメイド作家を見て、安心して子どもを預ける場所を提供したいと、この事業を思いつきました。ハンドメイド作家仲間の多くが子育て女性ということもあり、日々奮闘されています。参加者の皆様も含め、今後のご活躍を応援しております。

今年の日本経済の先行きは
—新春経済講演会を開催—

2月13日、日本銀行神戸支店竜田博之支店長を講師に「2023年経済展望」についての講演会を開催しました。

初めに日本銀行について紹介、その後2024年度上期を目的に、日本銀行券の改刷が予定されており、新たな偽造防止技術やユニバーサルデザインの例を紹介しました。



多数の参加者で毎年人気の講演会

次に、日本経済の動向として、経済の先行きは感染症や供給制約の影響が和らぐもとで回復していく、物価の先行きは目先来年度半ばにかけてプラス幅を縮小していくが、その後プラス幅を緩やかに拡大していくと紹介、これらの見通しのリスクとして、海外の経済や物価動向、ウクライナ情勢の展開などがあると話しました。

(参加者は49名)

加古川市の取組について学ぶ
—金融不動産産業部会を開催—

2月3日、第229回例会として、加古川市企画部政策企画課スマートシティ推進担当課長多田功氏を講師に「加古川市のスマートシティ推進の取り組みについて」と題した講演会を開催しました。

加古川市の課題は人口減少、生産年齢人口比率の低下、高齢者人口比率の上昇があり、市はスマートシティ構想を策定し、市民の幸福の向上を目指し様々な取り組みを行っていると話がありました。

現在の取組では、見守りカメラの設置や見守りサービスの導入により市民の安全・安心を確保、またDecisionの導入によるオンラインで市民との意見交換を行い、一方でオンラインでのワークショップも併せて行い広く意見を集めています。今後も「身近な自然を活かした魅力づくり」「駅周辺のにぎわいづくり」「産業誘致による雇用の創出」の取り組みをスマートシティ推進の中で行っていきたい、と話がありました。

(参加者は32名)

「小規模事業者持続化補助金」の採択結果が発表されました

【一般型(第10回 12/9締切)】 当所関係 採択者

(順不同)

事業所名	補助事業の事業名称
(株)ソプラ・クリエイション	3次元測定技術を用いた伝統工芸品のデジタルアーカイブと複製
(有)井上文尚堂	ランディングページ制作事業と顧客管理による売上拡大
福本精肉店(お多福)	宴会予約の受注拡大のための個室宴会スペースの改装とPR
(株)ライフクリエイト	宣伝カー(移動オフィス)でお客様認知度・満足度UP戦略
(有)宮脇製材所	看板設置や販促ツールによる幅広い世代への認知度向上
(有)プロヴァンス	人気ローストビーフのテイクアウト対応に向けた設備導入